CHASEBLISS
AUDIO

CONDOR

取扱説明書

（株）アンブレラカンパニー

www.umbrella-company.jp

＊ この取扱説明書は株式会社アンブレラカンパニーが正規に販売する製品専用のオリジナル制作物です。
無断での利用、配布、複製などを固く禁じます。

全く新しいトーンを探しに飛び立とう。

Condor は EQ、オーバードライブ、ブースト、トレモロ、フィルタートーンなど幅広いマルチエフェクトを洗練されたコントロールで実現した、フルアナログのエフェクトペダルです。150Hz から 4kHz まで調整できる強力なパラメトリック Mid コントロール、3 つの独立したローパスフィルター/ベースブースト/ベースカットのコントロールを搭載。幅広い周波数をコントロールできることに加えて、オーバードライブ回路も搭載し Gain と Volume であなたのギタートーンを彩ります。他の Chase Bliss Audio のペダルと同様、全ての設定はプリセットに保存して簡単に呼び出すことができ、エクスプレッションペダル/CV でもコントロールが可能です。全てのノブとスイッチは小さなデジタルブレインに接続されていますが、ギターのシグナルはデジタル処理されることなく、100%アナログのまま出力されます。エフェクトコントロールをデジタル制御することで、今までのアナログタイプのエフェクターでは不可能だった新感覚のトーン/コントロールを実現しています。

GAIN（RAMP）

シンプルに言えば、これは魔法のノブです。ramp 機能にどの dip スイッチもアサインされていないとき、このノブは+20dB までのゲイン調整として機能します。ramp 機能を使うと、デジタルコントロールにより、他のすべてのパラメーター（freq, volume, bass, mids, lpf)を個別に、または自由に組み合わせてこのノブに割り当てて操作をすることが出来ます。モジュレートやランプ・アンド・ホールド（rise, fall モード）を後ろにある dip スイッチで設定することで、パラメーターが変わる幅や変わる方向を決めることができます。その場合、このノブは割り当てたパラメーターを可変させるタイム（ramp タイム）を調整します。

FREQ

中音域を調整する Mids ノブでブースト/カットする周波数を調整できます。左に回しきりでおよそ 150Hz、12 時方向で 1250Hz、右に回しきりで 4kHz あたりを少し超える設定になります。

VOLUME

エフェクトのレベルを調整します。このペダルは内部で電圧を倍に昇圧しているためヘッドルームには余裕がある設定が可能ですが、それでも出力するボリュームには限界があります。gain、bass、mids のノブは直列で内部で繋がれてお互いに干渉するため、設定によっては歪んだディストーションサウンドになってしまうことがあります。このディストーションも素晴らしいトーンですが、歪んだ音を避けたい場合はゲインは可能な限り低く設定して、VOLUME で音量を調整するとうまくいきます。

BASS

低音域の 12dB までのブースト/カットが調整できます。ノブが 12 時方向だとトーンに影響しない設定になります。右回しで低域をブースト、左回しで低域をカットする方向に働きます。

MIDS

中音域の 18dB までのブースト/カットが調整できます。ノブが 12 時方向でトーンに影響しない設定になります。右回しで中域をブースト、左回しで中域をカットする方向に働きます。freq ノブで調整する中音域の周波数を細かく調整することが出来ます。

LPF

ローパスフィルターのカットオフ周波数を設定します。右に回しきりでフィルターがオープンになりカットをしない設定になります。ノブを左に回していくと高域がカットされていき、左に回しきりで高域がほぼ完全にカットされる設定になります。

BASS トグルスイッチ

BASS ノブでコントロールするブースト/カットの全体の量を調整します。左で少し、中央で中間、右でブースト/カット量を大きくします。

MIDS トグルスイッチ

パラメリトリック Mids コントロールの Q カーブを 3 種類から選択できます。左でワイドなスクープ、中央でよりフォーカスした設定、右でかなり狭い設定になります。

LPF トグルスイッチ

ローパスフィルターが LPF ノブのコントロールにどのように追従するかを選択します。左でマイルドなフィルター設定になり、通常のギターペダルに搭載されている Tone コントロールと同じ様な高価になります。中央はより急激に落ちるカーブの設定、右は更にクセをつけたカーブのローパスフィルターです。

DRIVE / HOLD フットスイッチ

このフットスイッチはペダル背面の dip スイッチの設定により機能が異なります。デフォルトではオーバードライブのオンオフを切り替えます。このオーバードライブは他のドライブペダルのトーン補正用に効果を発揮しますが、単体のドライブとしても十分使用が可能です。

BYPASS フットスイッチ

エフェクトのオンオフを切り替えます。ペダルの背面の dip スイッチでモーメンタリーバイパス（スイッチを押している間だけエフェクトをオン）に設定することも出来ます。

また dip スイッチでリレーを使ったトゥルーバイパスと、ペダルオフ時もバッファーを通るバッファードバイパスも切り替えられます。

下のトグルスイッチ（プリセットスイッチ）

一番下にあるスイッチはプリセットの呼び出しに使用します。右側のポジションでプリセット#1、左側でプリセット#2 を呼び出します。真ん中のポジションは常に現在のノブ、トグルスイッチ、dip スイッチの設定を呼び出します。トグルスイッチ右側のポジションに現在の設定をプリセットとして保存するには、まず右側のフットスイッチ（BYPASS)を 3 秒長押しし、そのまま BYPASS を押しながら DRIVE /HOLD のスイッチも同時に 3 秒押します。LED が点滅し、設定がプリセットに保存されます。トグルスイッチ左側のポジションにプリセットを保存したい場合は、左のフットスイッチの長押しから始めて同じ動作をします。プリセットを呼び出している状態でノブを動かしたりして設定を変更すると、プリセットスイッチ上の LED が暗くなります。これは元々のプリセット設定から何かが変更になったことを表します。この変更をプリセットに反映したい場合は、再度設定をプリセットに保存する必要があります。

IN / OUT

1/4”モノインプットジャックです。

EXP / CV

エクスプレッションペダルを接続する 1/4" TRS ジャックです。エクスプレッションペダルでコントロールするパラメーターは、背面の dip スイッチで選択できます。tip はワイパーに接続して下さい。弊社では Roland EV-5 にて動作確認をしています。スタンダードなエクスプレッションペダルがご利用いただけますが、ご不明点があればお問い合わせ下さい。

0-5 の CV（コントロールボルテージ）を受けることも出来ます。その場合リングがフローティングされるようにして下さい。

MIDI、外部スイッチ接続

外部フットスイッチを接続できます。ノーマリーオープン/モメンタリースイッチを接続すると、DRIVE /HOLD のスイッチを操作することが出来ます。このとき本体の DRIVE /HOLD スイッチは無効になります。

Chase Bliss MIDIBOX, または Empress Effects MIDIBOX を使用すると、MIDI クロックでペダルをコントロールすることが出来ます。MIDI については巻末の項目を御覧ください。

電源について

消費電力 70mA、2.1mm 9VDC センターマイナスのパワーサプライで動作します。9V 電池での駆動も可能ですが、消費電力が高いため電池残量には注意して下さい。

EXP / CV コントロールと dip スイッチ

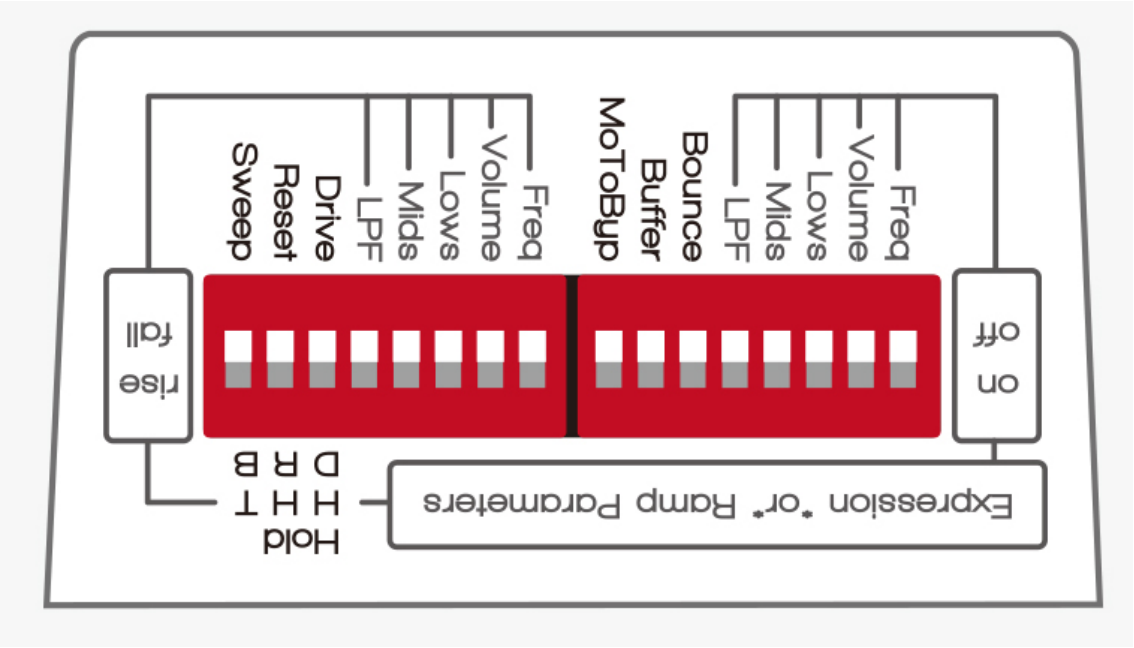
「on, off」側にある Freq, Volume, Bass, Mids, LPF の dip スイッチで、エクスプレッションペダル/CV でコントロールするパラメーターを割り当てができます。一つだけでも、複数同時でも操作できます。

エクスプレッション/CV のコントロールレンジの調節

エクスプレッションペダルと CV のコントロール幅はノブのポジションと、Sweep dip スイッチで決定します。例えばエクスプレッションペダルにボリュームを割り当てて、ゼロからユニティゲインまでコントロールしたいとき、まずは Sweep を B（Bottom）ポジションにセットします。その後ボリュームノブをユニティゲインに合わせると、エクスプレッションペダルでゼロからノブで設定した値（ユニティゲイン）まで可変できるようになります。調節したいボリューム幅を広げたい場合は、ノブを更に回します。これによりエクスプレッションペダルで可変させる幅を広げることが出来ます。様々なパラメーターを同時に可変させることが出来ますが、それぞれのノブで可変幅は微調整できます。

dip スイッチについて

dip スイッチの設定は最初は難しく複雑に感じると思います。初めてペダルを使用するときは、まずは dip スイッチのことは忘れてプレイしてみて下さい。ベーシックな機能を把握したあと、その後更に必要な機能に合わせて dip スイッチを設定すると、うまくいくと思います。



※プリセットを保存すると、dip スイッチの設定も全て保存されます

・**「on, off」側の Freq, Volume, Bass, Mids, LPF :** エクスプレッションペダル/CV での可変するパラメーターの割り当てを決めます。

・**「rise, fall」側の Freq, Volume, Bass, Mids, LPF :** エクスプレッションペダルでパラメーターを操作するとき、ペダルの踏み込みでノブが右回しになる=rise モード、ペダルの踏み込みでノブが左回しになる＝fall モードを設定します。

・**Bounce :** このスイッチを on にしてかつエクスプレッションペダルが接続されていないとき、各パラメーターは自動的に可変します。（モジュレートします）

・**Buffer :** ノイズレス/クリックレスの高品質なバッファードバイパスのオンオフを切り替えます。オンにすると、ペダルをバイパスしているときは高音質なバッファーを通るようになります。

・**MoToByp :** ペダルのモーメンタリー動作（フットスイッチを押している間だけオン、またはオフ）を切り替えることが出来ます。モーメンタリー動作を有効にして、ペダルがオフのときに BYPASS フットスイッチを長押しすると押している間だけペダルをオンにします。ペダルがオンのときにスイッチを長押しすると、長押ししている間だけペダルをオンにします。

・**Drive :** DRIVE / HOLD のフットスイッチの動作を選択します。dip スイッチが D ではオーバードライブのオンオフですが、dip スイッチを H にするとホールド機能を有効にします。D のときはフットスイッチの LED がクリーンでは緑、ドライブでは赤に変化します。H のホールド機能が有効時は、Reset dip スイッチの設定により効果が異なります。

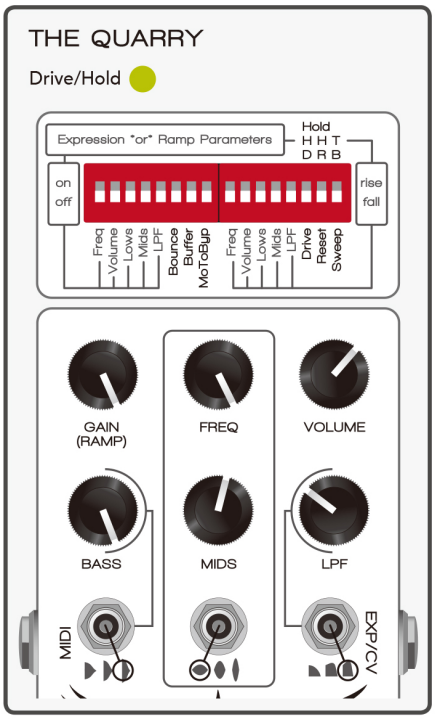
・**Reset :** DRIVE / HOLD のフットスイッチを長押し（ホールド）したときの効果を設定します。Drive の dip スイッチが H に設定されているときのみ、この dip スイッチが有効になります。H のホールドモードでは、DRIVE / HOLD のフットスイッチを長押ししているときのみ ramp を有効にさせます。R の設定では ramp を常に有効にして、フットスイッチを押すと ramp をリセットさせる設定になります。youtube にてデモビデオを確認いただけます。

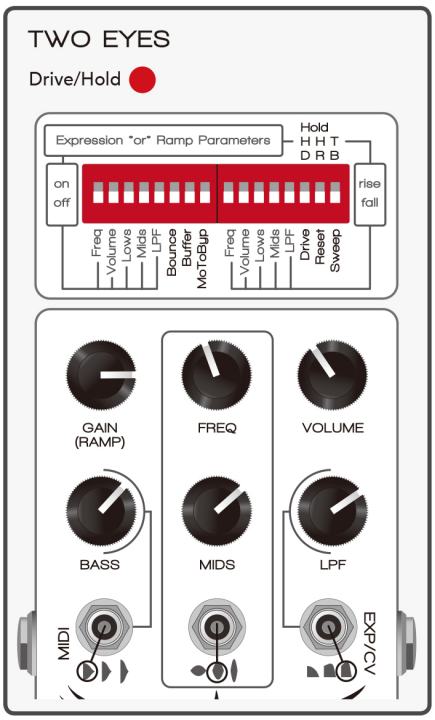
・**Sweep :** エクスプレッションペダルの可変幅を設定するのに使います。

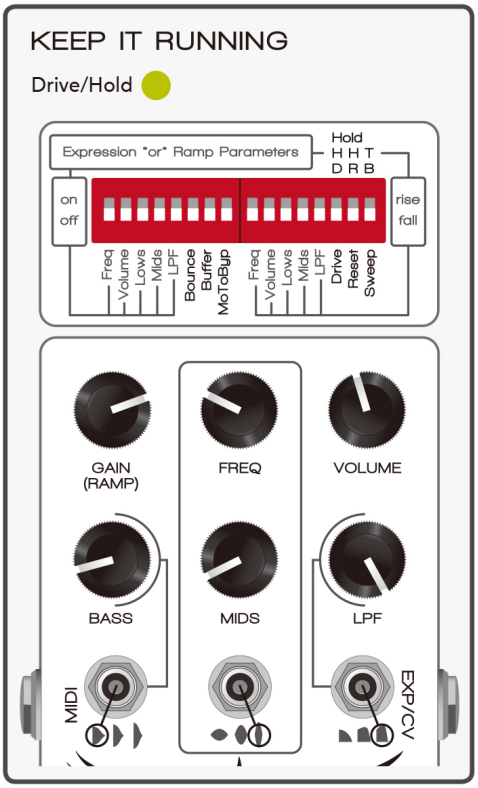
T（Top）ではエクスプレッションペダルの可変幅が現在のノブのポジションから最大値までの間で設定されます。B（Bottom）では可変幅が現在のノブのポジションから最小値の間で設定されます

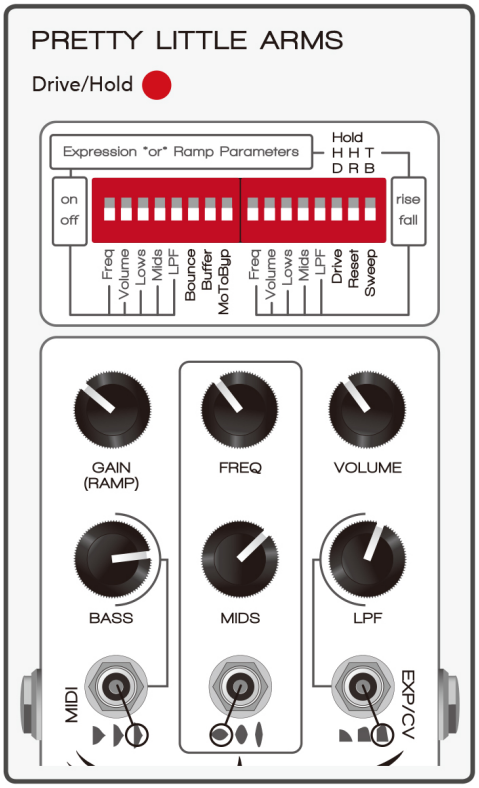
サンプル設定

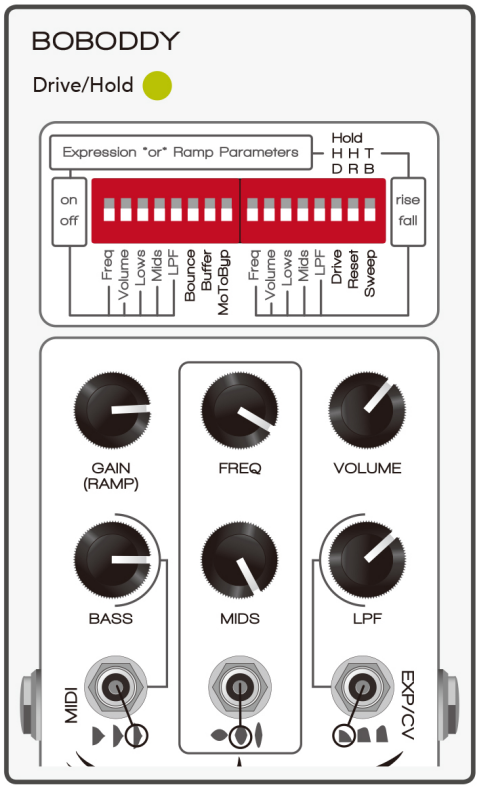
これらのサンプル設定の実際のサウンドは弊社ホームページ、または
soundcloud.com/chaseblissaudio で試聴することができます。

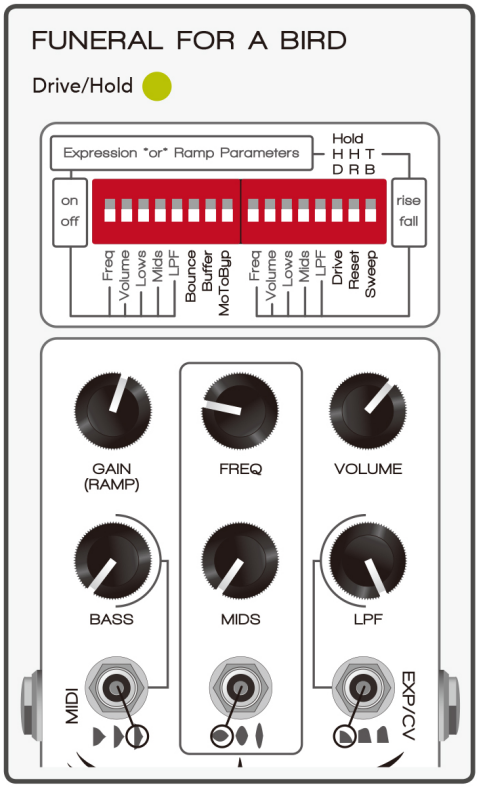


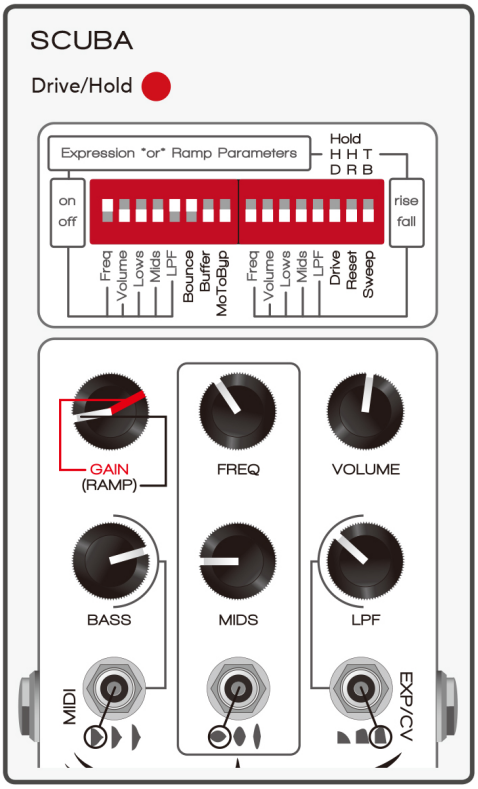


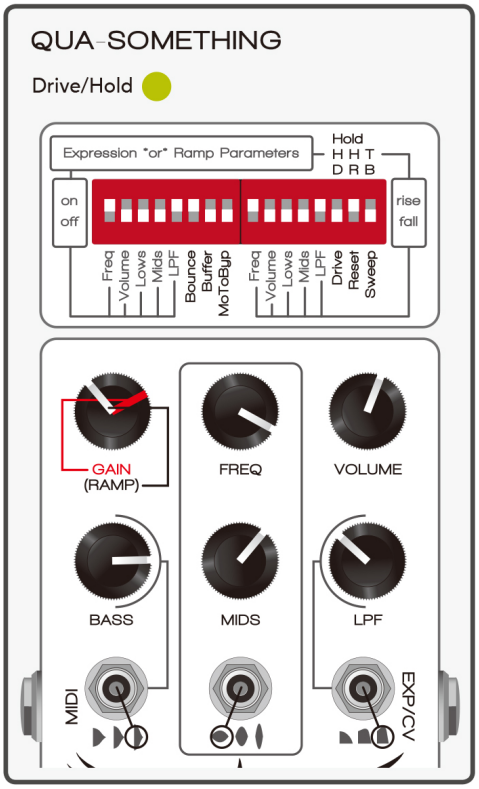

KEEP IT RUNNING
Drive/Hold
Expression "or" Ramp Parameters
Hold
H H T
D R B
on
off
rise
fall
Freq
Volume
Lows
Mids
LPF
Bounce
Buffer
MoToByp
Freq
Volume
Lows
Mids
LPF
Drive
Reset
Sweep
GAIN
(RAMP)
FREQ
VOLUME
BASS
MIDS
LPF
MIDI
EXP/CV

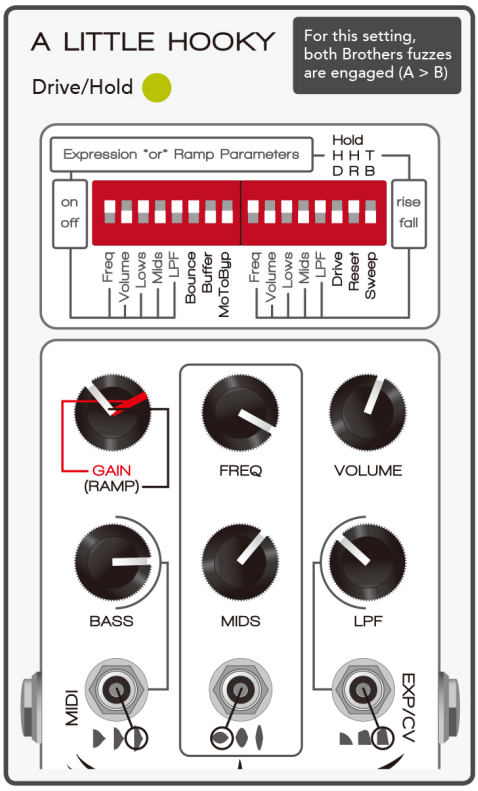

PRETTY LITTLE ARMS
Drive/Hold
Expression "or" Ramp Parameters
Hold
H H T
D R B
on
off
rise
fall
Freq
Volume
Lows
Mids
LPF
Bounce
Buffer
MoToByp
Freq
Volume
Lows
Mids
LPF
Drive
Reset
Sweep
GAIN
(RAMP)
FREQ
VOLUME
BASS
MIDS
LPF
MIDI
EXP/CV

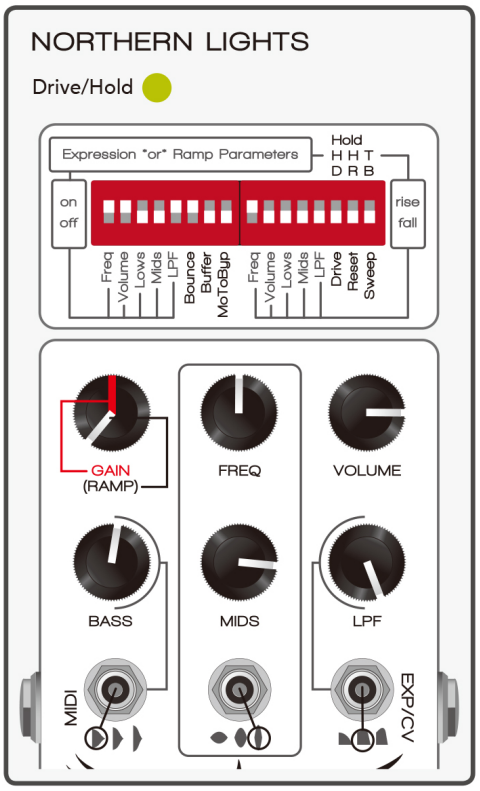

BOBODDY
Drive/Hold
Expression "or" Ramp Parameters
Hold
H H T
D R B
on
off
rise
fall
Freq
Volume
Lows
Mids
LPF
Bounce
Buffer
MoToByp
Freq
Volume
Lows
Mids
LPF
Drive
Reset
Sweep
GAIN
(RAMP)
FREQ
VOLUME
BASS
MIDS
LPF
MIDI
EXP/CV


FUNERAL FOR A BIRD
Drive/Hold
Expression "or" Ramp Parameters
Hold
H H T
D R B
on
off
rise
fall
Freq
Volume
Lows
Mids
LPF
Bounce
Buffer
MoToByp
Freq
Volume
Lows
Mids
LPF
Drive
Reset
Sweep
GAIN
(RAMP)
FREQ
VOLUME
BASS
MIDS
LPF
MIDI
EXP/CV


SCUBA
Drive/Hold
Expression "or" Ramp Parameters
Hold
H H T
D R B
on
off
rise
fall
Freq
Volume
Lows
Mids
LPF
Bounce
Buffer
MoToBup
Freq
Volume
Lows
Mids
LPF
Drive
Reset
Sweep
GAIN
(RAMP)
FREQ
VOLUME
BASS
MIDS
LPF
MIDI
EXP/CV


QUA-SOMETHING
Drive/Hold
Expression "or" Ramp Parameters
Hold
H H T
D R B
on
off
rise
fall
Freq
Volume
Lows
Mids
LPF
Bounce
Buffer
MoToBup
Freq
Volume
Lows
Mids
LPF
Drive
Reset
Sweep
GAIN
(RAMP)
FREQ
VOLUME
BASS
MIDS
LPF
MIDI
EXP/CV


A LITTLE HOOKY
For this setting, both Brothers fuzzes are engaged (A > B)
Drive/Hold
Expression "or" Ramp Parameters
Hold
H H T
D R B
on
off
rise
fall
Freq
Volume
Lows
Mids
LPF
Bounce
Buffer
MoToBup
Freq
Volume
Lows
Mids
LPF
Drive
Reset
Sweep
GAIN
(RAMP)
FREQ
VOLUME
BASS
MIDS
LPF
MIDI
EXP/CV


NORTHERN LIGHTS
Drive/Hold
Expression "or" Ramp Parameters
Hold
H H T
D R B
on
off
rise
fall
Freq
Volume
Lows
Mids
LPF
Bounce
Buffer
MoToBup
Freq
Volume
Lows
Mids
LPF
Drive
Reset
Sweep
GAIN
(RAMP)
FREQ
VOLUME
BASS
MIDS
LPF
MIDI
EXP/CV

MIDI について

Condor は全てのパラメーターを MIDI コントロールメッセージで操作することが出来ます。プリセットの呼び出しと保存も MIDI を介して操作できます。

別売りの Faves MIDI コントローラーを使用すると、6 個までのプリセットを保存して呼び出せます。Faves 以外の MIDI コントローラーを使用する際は、以下に従って下さい。

1. Chase Bliss MIDIBOX を用意し、Condor の TAP/MIDI ジャックと MIDIBOX をスタンダードな 1/4"TRS ケーブルで接続します。Chase Bliss 製以外の MIDIBOX を使用する場合、tip とリングを反転させる改造が必要になる場合があります。詳しくは国内代理店までお問い合わせ下さい。

2.　デフォルトでは Condor は MIDI チャンネルの 2 に設定されていますが、必要であれば他のチャンネルへ変更できます。変更したい場合、A と B スイッチを長押ししながら電源を入れます。その後設定したい MIDI チャンネルのメッセージを Condor に送信します。

MIDI を使ったプリセットの呼び出し

MIDI のプログラムチェンジメッセージを送ることでプリセットを呼び出すことが出来ます。例えば、プログラムチェンジメッセージの 1 はプリセット 1 を呼び出します。プリセットスロットは 122 まで使用できます。スロット 1 と 2 はペダルのプリセットトグルスイッチを使って直接保存ができるプリセットと同じものです。スロット 1 が右、スロット 2 が左です。プログラムチェンジメッセージを 0 で送信すると、ペダルを「ライブモード」で呼び出します。プリセットトグルスイッチが真ん中のときと同じ設定です。

MIDI を使ったプリセットの保存

MIDI を介してプリセットを保存するには、本体の TAP と BYPASS スイッチを同時に押しながらプログラムチェンジメッセージを送信します。例えば、両方のスイッチを押しながらプログラムチェンジメッセージの 45 を送信すると、現在の設定がプリセットスロットの 45 に保存されます。本体のトグルスイッチで呼び出せるプリセットは 1 と 2 のみですが、MIDI を使うと 122 までのスロットを使用できます。

コントロールチェンジメッセージ

本機は MIDI コントロールチェンジメッセージで操作をすることが出来ます。

<table>
<tr><th>パラメーター</th><th>CC#</th><th>説明</th></tr>
<tr><td>Gain</td><td>14</td><td rowspan="6">0 を送信すると、ノブを左に回しきるのと同じになり、127 を送信すると完全に右に回しきりになります。
中間の値は全てノブの中間の位置に対応します。</td></tr>
<tr><td>Freq</td><td>15</td></tr>
<tr><td>Volume</td><td>16</td></tr>
<tr><td>Bass</td><td>17</td></tr>
<tr><td>Mids</td><td>18</td></tr>
<tr><td>LPF</td><td>19</td></tr>
<tr><td>Bass トグルセレクト</td><td>21</td><td rowspan="3">値が 1 でトグルスイッチが左のポジション、2 で中央のポジション、3 で右のポジションを選択します。</td></tr>
<tr><td>Mids トグルセレクト</td><td>22</td></tr>
<tr><td>LPF トグルセレクト</td><td>23</td></tr>
<tr><td>エクスプレッション</td><td>100</td><td>0 を送信するとエクスプレッション・ペダルが完全にオフと認識します。127 でペダルを最大まで踏み込んだ状態になります。その間の数値は全てペダルの中間に対応します。エクスプレッションペダルでコントロールするパラメーターは本体の dip スイッチで設定します。</td></tr>
<tr><td>バイパススイッチ</td><td>102</td><td>127 を送信すると最後に使っていたチャンネルをオンにします。0 で両方のペダルをバイパスします。</td></tr>
<tr><td>バイパススイッチ</td><td>103</td><td>127 を送信すると両方のチャンネルを ON にします。45 で OD チャンネルをオンにしますが、ペダルはバイパスします。85 でペダルをオンにし、OD チャンネルはバイパスします。0 を送信すると両方のチャンネルをバイパスします。</td></tr>
</table>